

# 平成28年度豊明市スポーツ推進計画審議会会議録要旨

平成28年 10月5日(水) 10:00～  
豊明市役所 教育委員会室

## 敬称略

出席委員： 石川、山田、緒方、仁枝、相羽、寺倉、八塚、加藤(賢)、加藤(育)  
事務局： 生涯学習課長高木、生涯学習課長補佐青木、スポーツ担当高垣、石川(健)

## 1. あいさつ

石川会長  
伏屋教育長(8月1日付就任)  
加藤(育)委員(4月1日付委嘱)

## 2. 資料確認

## 3. 議 題

### (1) スポーツ推進計画の進捗状況について

9月に実施した各課への進捗状況の調査報告に基づき説明。この調査状況報告を基に見直しをしていく。

## 質疑・意見等

- 阿野、宿ふれあい広場について、補助金が支払われているが、一般への貸し出しはされていない。どのような趣旨のものか?  
→ 地域コミュニティの場として設置していただくために補助金の申請を受け付けたのが始まりで、以後は補助額を下げ、修繕等の維持管理のために使っている。  
ふれあい広場は、その地域のためのものであるため、一般貸し出しについては、それぞれ広場を管理するところの考え方による。市として一般に貸し出すよう指導するようなことはしない。
- チャレンジデーは実施できるか?  
→ できれば実現させたい。市として実行委員会を立ち上げる必要がある。また、企業や学校の協力も必要であるため、市長部局との協議等も進めていきたい。
- 野外教育センターは現状どうなっているか?  
→ 三年前から閉鎖しており、耐震に問題のあった宿泊棟も取り壊した。現在、小中学生は美浜に野外教育活動に行っている。豊根村とは交流がなくなったわけではなく、議員の交流やイングリッシュキャンプを開催して交流は継続していく。
- 総合型地域スポーツクラブのところで、“地域に根差した”とあるが、具体的にはどのように考えているか?  
→ 現状、バドミントンを除いて小中学生が対象となっている。活動も小中学校をお借りして活動しているが、将来的にはそれぞれの活動場所で、子どもから大人まで一緒に活動していけるとよいと考えている。27年度には、フットサルクラブで親子体験会を実施し好評であった。将来的には、単発イベントだけではなく継続的に活動が行なえるようになることを考えている。

(2) 中間検証に際しての市民アンケートの実施について

意識調査(案)について説明。策定時の内容に基づいて、今回はスポーツをしない人の現状を把握できるような項目を残した。設問項目等の内容については承認を受けた。

質疑・意見等

○ 業者任せでなく、現状を把握した中で進めていただけるのはよい。

○ (閉会後に委員からの意見があった。)

アンケートの中で、「あなたはスポーツをすることが好きですか？」等の設問があるが、  
“スポーツ=体を動かすこと(ウォーキングやストレッチ等の軽負荷なものを含む)”

という定義がわかるように記載するとよいのではないか？

→ 負荷の軽いものも“スポーツ”として認識してもらえるような記述にする。

(3) その他

来年度は中間検証と見直しがあるため、複数回の会議を予定している。出席についてご協力をいただきたい。

以上